



## 一般家庭のバリアフリーに対する市の支援について

創志会 藤澤 菊枝

**問** 階段や段差など身近な場所に大きなハードルを感じている方は、障がいのある方、高齢の方、子育て中の方などさまざまな立場の方に共通すると思います。

自宅など身近な生活の場において、バリアフリーのための設備が必要となった場合、市の支援について伺います。

**答（保健福祉部長）**…高齢者の場合、介護保険制度の住宅改修費の支援があります。これは、要支援または要介護に認定された方が対象で、手すりやスロープの設置に対し、上限額20万円として支給するものです。

障がい者の場合、身体障害者手帳1、2級の肢体不自由または視覚障がい、IQ35以下の判定を受けた方などが対象の制度があり、助成額の上限は80万円となります。

どちらの制度も、自宅をバリアフリー化することで、本人ができるだけ自力で生活できることを支援するほか、介護者の負担軽減も目的としています。

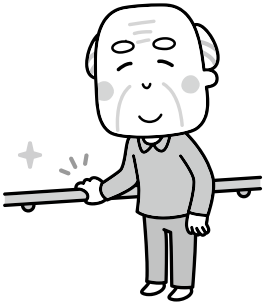
日常生活で支援が必要な状況になっても、誰もがその人らしく安全・安心に暮らすことができるよう、きめ細かい視点で一般家庭のバリアフリー化を支援してまいります。

**問** 障害者手帳があり、かつ、介護保険の対象となる方の制度の利用はどのようになりますか。

**答（保健福祉部長）**…障がい者が65歳以上となった場合、介護保険制度の利用が優先されます。まず介護保険からの給付を受けていただき、さらに自己負担があった場合に、障がいの助成を受けていただくこととなります。

### その他の質問

- ・市の緑化政策について
- ・農政における市内農業系教育機関との連携について



## 高齢者対策について

創志会 久保田 英賢

**問** 平成31年度予算では、高齢者に対してさらなるサービス充実のため、どのような施策を考えているのか伺います。

**答（保健福祉部長）**…認知症初期集中支援チームや高齢者あんしん補償事業などの認知症対策と、介護状態にならないよう介護予防事業の推進を図ってまいります。地域とともに支え合い、生きがいを持って安心して生活ができるよう生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、各相談窓口などの関係機関と連携を強化し、高齢者支援の推進を図ってまいります。

**問** 認知症に関しては早期の発見が重要であります。認知症になる恐れがある人に対しての、早期発見の取り組みについて見解を伺います。

**答（保健福祉部長）**…認知症ケアパスを活用しながら本人や家族を支援しているほか、市役所1階の未病センターにある、記憶力、探索能力、ストレスチェックといった脳年齢の測定などができる機械が自由に使えますので、一つの目安として活用いただければと考えています。

**問** 早期発見の手段として、長谷川式認知症スケールや認知症予防協会のウェブ上に認知症自己診断テストなどがあります。市が行う特定健診の中に含めたり、敬老の集い、サロンや未病センターなどでこれらを活用することについて、見解を伺います。

**答（市長）**…誰もが自分の点検をすることについては必要と考えます。未病センターに来た方をどのようにフォローしていくかが大きな課題であり、その中に含めて内容などの充実や今後の方向性を見いだしていきたいと思います。

### その他の質問

- ・市内交通網の現状と今後の整備について
- ・図書館周辺の文化ゾーンの考え方について



## インフルエンザ対策について

太平会 山口 良樹

**問** 本市のインフルエンザ対策は、おそらく県下で一番充実していると思います。高齢者に対する予防接種助成のほかにも、中学3年生全員を対象に、千円の個人負担でインフルエンザの予防接種が受けられる事業がスタートしましたが、政策効果はどの程度あったのか伺います。

また、全ての小中学生を対象に集団接種ができたなら、市内でのインフルエンザの脅威が少しでも解消されるのではないかと考えていますが、可能かどうかお尋ねします。

**答（教育部長）**…入試や就職試験で十分実力が発揮できるよう願って、今シーズンから始めましたが、接種率は約6割でした。中学3年生の学級閉鎖はおかげさまで1校もありませんでした。接種率向上のためのPRなどが課題だと受け止めています。

65歳未満のインフルエンザの予防接種は法律で任意接種とされています。ご提案の集団接種は、接種する場所、ワクチン、医師の確保などについて検討や調整も必要です。今年度実施した事業の課題を検証し、まずは次年度の接種率アップに取り組んでいきたいと思っています。

**問** インフルエンザの罹患率は小学生が最も高いと言われ、子どもから家族への感染拡大が起きているようです。また、健康な子どもが予防接種を受けに病院に行くと、インフルエンザにかかってしまうこともあり、全ての小中学生1万1千人の集団接種ができないかと思った次第です。

高校受験の当日に高熱で寝込んでしまえば、人生を大きく狂わせることにもなりかねません。接種率が向上するよう努力をお願いしたいと思いますが、子どもと接する先生のインフルエンザ対策の状況についてお尋ねします。

**答（教育長）**…何の補助もしていませんが、自己責任という形で予防接種をするように話しています。

### その他の質問

- ・市職員の定年引き上げと給与水準の設定について